

ふるさと奥尻通信

平成27年7月31日
奥尻町教育委員会発行
事務局：01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭言

戦後70年。我が国はこの70年間戦争を放棄し、軍事的には誰も殺されず、また誰も殺すことなく世界に躍進してきました。世界的に見て稀有な例でしょう。71年目を確実に迎えねばなりません。

特集 妹よ 一兄からの軍事郵便一

先日、函館市在住の齊藤幸子さん(旧姓小山:青苗出身:86歳)より、戦時中に兄から送られたハガキを4枚複写させてもらいました。文面からは、戦時中の留守宅を心配する兄と、家族を世話する妹の姿が想像され、奥尻島とて戦火こそ及ばなかったものの(漂着機雷爆発による被害有り)、厳しい生活があったことが判ります。

差出人は次兄の小山茂さん(大正14年生)で、当時は「北ボルネオ派遣灘九八〇一部隊ノほ」に所属していたようです。ただ、軍事郵便は基本的無料のため切手は不要、昭和期では消印も押されないの、年月日が判りにくいものです。そこで、文面から読み解いてみました。



小山茂(少年期)



ハガキの宛名面



ボルネオ島の位置

北ボルネオは現在のマレーシア領部分
★軍事郵便とは★

出征軍人が国内外に向けて送ったハガキや封書による私信。本来は防諜上、自分の居場所、日時、部隊の動きなどは書けない。上官により検閲された。文中の「灘九八〇一部隊」は通称号で、部隊名は独立歩兵第五五四大隊となる。

拝啓

妹よ、度々御便り大変嬉しく思つて居ります。一月十日に三通着きました。御一同様には、相変らず御元気で御暮しとの事何よりと思つて居ります。小生もボルネオへ来て二度目のお正月を致し益々御奉公の道に邁進致して居ります由。他事乍ら御放念下され度。小生も今年で二十歳に相成りました。五月頃に現地で兵隊検査を受けます。もし合格すれば今年の内に現地入隊するかもしれません。もし現地入隊するようになれば家の事は何分妹二人にて良く守つてくださるよう御願ひ致します。今度何時御一同様の御顔を拝見出来る事やら アア一生会ふ事が出来なくなるかもしれません。皆々様の御顔を見たいのは山々なれど、これも時節がら致し方有りません。出来る事なら皆々様の御写真を送つて下され度。自分のも近々送ります。兄上様からは一度便りをいただきましたが如何なされて居りますか。時々便り下さるよう申して下さい。

(やぶれ) ■■■オには別に変わった事は有りません。では又後便りにて。御一同様によろしく。
(やぶれ) ■南十字星の下より皆々様の御幸福を祈る。
サヨナラ

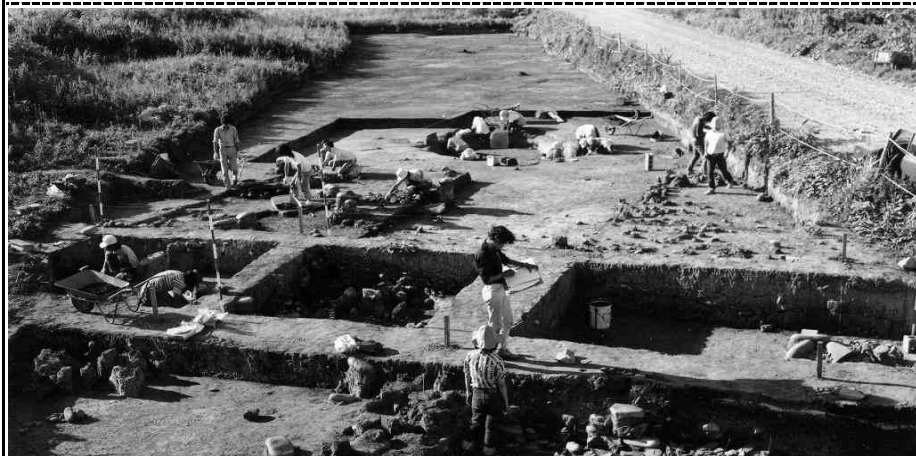
文面によれば、20歳になったとあるので、ちょうど昭和20年(1945)となり、間もなく現地で徴兵検査を受けて入隊することが判ります。ということは、上記の「灘」部隊には正式には入っておらず、そのために「~部隊ノほ」と書かれていたのでしょうか。"いろは"の「ほ」(5番目)もしくは補助の「ほ」?なのか定かではありませんが、すでに軍属であったのかもしれませんが。非常に残念なことに、『戦後のたより』(上埜賢1974:私家本)によれば、茂さんは昭和20年12月に北ボルネオの陸軍病院にて戦病死したとなっており、階級は陸軍上等兵でした。

以上のことから、茂さんはハガキ発信後間もなく入隊し、現地部隊に配属され、なんらかの作戦に参加中、病を得て入院したものの、帰らぬ人となったこととなります。終戦間際の現地では、無謀な作戦と補給路の途絶等により、マラリア罹患や衰弱者が多発し、悲惨な状況であったことが生存者の証言や手記で明らかにされています。



兄の思い出を語る幸子さん

兄の便りはいつも「妹よ…」で始まるんですよ、と思い出を語ってくれた幸子さん。寺屋敷で生まれ、後に両親が青苗で小山旅館を営み、20歳の頃は青苗のバター工場に勤務。球浦の齊藤薫さん(役場、後に支庁)と結婚、昭和32年夫の転勤で離島。



昭和51年(1976)より始まった青苗遺跡の発掘調査の様子です。この調査は道道奥尻島線の整備事業に先立って行われたもので、開発工事が原因の「行政発掘」と呼ばれるものです。青苗遺跡の調査は奥尻初の行政発掘で、数年にわたる大規模なものでした。場所は、奥尻空港に向かう道路の坂の途中、ちょうど青苗の墓地の周辺です。中央上方では竪穴住居らしきものを地元のお母さん方が掘っています。手前では十字に区画して掘り進め、土層を観察する「十字ベルト」を残しています。中央の人は縄文土器や石器がまとまって出土している場所を図面に書き起こしているようです。

百年の愚行

ONE HUNDRED YEARS OF IDIOTRY

愚行の世紀はまだ続くのか

20世紀を振り返り、21世紀の地球を脅かす100枚の写真
 【特別編集】池田重樹 / アップル・キアロス・タミ・アフリカ
 マン・ダイソン / 藤 隆 / アロート・ラウ・グレイストローム
 愚行の世紀はまだ続くのか、はくちらひるのか、いや、いまさら
 まで聞かぬやうかもしない。そのために、この本を——人間の愚行
 人類は自然にも大きなツケをもらした。これらの問題をいかに
 解決していくか、われわれは愚行の世紀に——愚行一
 踏めなければいけないだろう。これはわたしたち人間の自由意志
 の力。まずは意識することが、愚行の第一歩なのだ。これこそが今日
 生きる人間に課せられた「愚行の教科書」ではないか——池田重樹

2000年 東京ADC賞 2000年 ニューヨークADC賞 受賞

発行 Think the Earth Project / 池田重樹編集

学芸員オススメの一冊をご紹介します。本は海洋研修センター図書室で借りられます。

百年の愚行

小崎哲哉 + Think the Earth

20世紀とは何であったのか。環境、動物、テクノロジー、戦争、貧困など10個のテーマで100枚の写真で人類の愚かな行いを示す一冊。一枚として気分の良い写真はない。後半は目をそむけたい場面連続である。だが、これを直視できるか否か、現代人は試されている。見ることはたやすい、そこから行動できるか否か。はたしてあなたは？

月刊 奥尻のつり 7月号

真夏、磯釣りはお休みです。それでも穴釣りへ出かけていけば、ソイ、ハチガラ釣りが楽しめます。穴釣りのポイントは、大きめのテトラポットが設置されている場所で、その組み合わせ具合によって、深くまで海底に下がっていく穴を見つけることです。より深い方が魚が多く、大きめです。しかし、魚がかかれば潜ってしまい、出てこなくなると根がかり状態になります。引きがあったら素早くしゃくるように、竿を動かす手首の感覚に注意を払いましょう。最大の注意点はテトラの上には上がらないことです。万が一落下すると簡単には上がれないし、波があると周囲にぶつかり、命の危険がありますのでね。奥尻の人は夏になるともっぱら泳いでばかりいるので、泳ぎは達者ですが、過信は禁物です。海のレジャーは安心と安全な環境で楽しみましょう。

続・昭和奥尻生活詩 7回

昭和10年 奥尻郡釣石尋常高等小学校一年生「烏賊つけ」

「夜 襪 鯨 朽 月 夜
 | 光 の の り
 い 蟲 音 よ か
 | は 近 う け た
 誰 月 づ だ 磯
 だ の い
 か か て 船
 呼 げ き の 影
 ん の た
 で 様
 る だ
 る よ

長岡 実

へみれねそだにすりーり
 急なる。うぼ。も。は特まと
 げさの残でつ函見土は別す
 くんみるすら館か産ぼ純と
 。、ではのぼ市け物完米、学
 島し飲でつ内な屋売 島芸
 のよ食ねらのくやし奥内員
 飲む店ら残酒な地た尻での
 みかでいつ屋り域よーの調
 屋。提目でにまのうの地査
 ささ供でいはし商で小酒に
 んあさするま 店 売 よ



学芸員が勾玉づくりを指導

奥尻の地酒完売か？

婚活で勾玉づくり！

交つア島食試う上に内にテち衛
 流く|内店みととよ居かイが隊奥
 をり、のをでい地り住けいふ員尻
 深な縁観めすう域、のてがれと島
 めど結光ぐ。島活隊独行、あとに
 てをび名る参内性員身わ七う内駐
 ま験願を街者はに勤性ま三婚住す
 ししつ巡コは初つ務とし日活むる
 たなたるン街めな意のたゝ”女男
 が勾玉のてげ欲交。五パ性性
 ら玉 や飲のよ向流道日！た自

井そはまア盛りひらまあ代
 のう少すぶり。昔なだし史赴
 内、なねもでさ話いまかを任
 側こい。ブすてをこだけ追以
 にな気例ン。おと知五以来、
 蜂いが年ブ黄島聞ばら年か、
 のだしに飛色のかかいたてけ
 巢自ま比飛く短せりいちま
 が宅すべびていくでこすま
 の。蟬回大夏だす。がす。近
 軒そのつき真さ。がす。現
 天う声ていつ ぜ判、

で五く海島で学痕一ーま学て
 す時だ洋に、芸跡般島す会、九
 の四さ研つ奥員が公嶼。の日
 で〇い修い尻の語開学五奥本
 お分。セては発る講か日尻島
 気ま八ン学じ表こ座らに大会
 軽で時タびめもとーみは、が
 に。三した、あ 古た 会、
 ど参〇へい全り他代奥基開
 う加分お方国ま、の尻調催し
 ぞ無く越はのす稲津、講さよ
 料十し、離の垣波、演れ

日本島嶼学会開催します

今月の奥尻のお宝

観光協会、役場窓口で配布

奥尻限定 うにまるカード 2015年版